

ごあいさつ

私達、農研機構は、自らが生み出した研究成果や研究能力を広く社会に還元するため、産学官連携に積極的に取り組んでいます。

また、アグリビジネス創出のいろいろなお手伝いも行っています。

例えば、農研機構の研究成果を提案したり、

農業生産現場や民間企業等と農研機構との双方向コミュニケーションを実施し、

ニーズとシーズのマッチングを分析したり、各種セミナーや情報交換会の開催などを行っています。

今回ご紹介する九州向けの黒大豆「クロダマル」を活用して、

新しいアグリビジネスを始めてみませんか。ぜひ気軽に声をおかけください。

なお、本マニュアルを作成するのに際し、大豆生産者、加工メーカー、農業改良普及センター、

大分県農林水産研究センターの担当者の皆様に

多大なご支援ご協力をいただきました。ここに改めて感謝申し上げます。

平成22年3月

独立行政法人 農業・食品産業技術総合研究機構

九州沖縄農業研究センター 異業種連携研究チーム長 相原 貴之

本マニュアルのねらいと特徴

■ねらい

本マニュアルでは、大豆生産者及び加工メーカー、関係機関の担当者に、黒大豆新品種「クロダマル」(交付金対象外の大豆)を中心とした直接取引と産地化を進める際の具体的な方法とポイントについて、わかりやすく理解してもらい、実践していただくためのヒントを提供することをねらいとしています。

■特徴

大豆の直接取引を支援するため、クロダマルの特徴の整理、大豆取引制度の理解、具体的な取引支援のためのシステム「Soya試算シート」の紹介、栽培上のポイントの整理、産地化のポイントを簡潔にお示ししています。本マニュアルを用いて、クロダマルの需要拡大を目指し、具体的なビジネスシミュレーションができるように構成されています。

ぜひ、本マニュアルを活用し、クロダマルの新しいビジネスに挑戦してみてください！

目次

クロダマルについて.....	3p
大豆取引の制度と対応策.....	5p
大豆の直接取引を支援する「Soya試算シート」.....	11p
クロダマル栽培のポイント(大分県版).....	15p
コンソーシアム形成のポイント.....	17p

